

## 令和2年度事業活動報告書

当 NPO は、平成 21 年設立以来、以下に要約する政策提言、自主研究、受託研究、セミナー・講演の活動を行ってきた。

政策提言	宇宙基本計画に係る提言（内閣官房宇宙開発戦略本部事務局） 安全保障のための宇宙利用推進（自民党宇宙総合戦略小委員会） 安全保障のための MDA（自民党、内閣府、国家安全保障局、防衛省） 安全保障に係る海洋状況把握（内閣府、国家安全保障局、防衛省） 安全保障に係る宇宙からの MDA（防衛省）
自主研究	デュアルユースの研究（平成 21 年） 海洋監視衛星システムの研究（平成 21－23 年） 射場システムの研究（平成 27－28 年） 安全保障衛星と MDA の研究（平成 28－29 年） 地球観測・監視プログラムの推進体制（平成 29－30 年）
受託研究	ALOS-1 が撮像した船舶画像の解析（経済産業省、平成 23－26 年） 海洋への衛星利用の研究（海洋政策研究財団、平成 24－25 年） リモセン法基礎調査支援（内閣府宇宙戦略室、平成 27 年） 射場課題の体系的整理（同上、平成 27－28 年） 安全保障に係る宇宙からの MDA に関する調査（防衛装備庁、令和 2 年）
セミナー	海洋と宇宙の連携セミナー（平成 26－28 年）5 回 安全保障と宇宙利用に関するシンポジウム（令和 3 年）

※組織名称は、当時のもの

令和 2 年度に実施した主な事業の概要は次のとおりである。

### 1 シンポジウムの開催

「安全保障と宇宙利用」というテーマで、シンポジウムを実施した。  
コロナ対策により会場の人数を制限し、WEB を併用した。

概要は、以下のとおりである。

- ① 日時 令和 2 年 10 月 26 日（月）1400-1700
- ② 場所 日本倶楽部（千代田区丸の内 3-1-1 国際ビル 8F）
- ③ テーマ：「安全保障と宇宙利用」

④ 講演者：

防衛省防衛政策局戦略企画課 保坂益貴氏

防衛省防衛装備庁技術戦略課 藤森英俊氏

CO-JASPA 上席研究員 畑中裕生

会員企業 三菱電機 防衛・システム事業部長 洗井昌彦氏

住友商事 航空宇宙事業部 部長付 小川浩志氏

⑤ 聴講者：防衛省現役関係者、CO-JASPA 会員、会員企業

CO-JASPA 元会員企業、その他 約 50 名

⑥ 実施方式：会議場所及び WEB により実施

2 勉強会

令和 2 年 1 月 20 日に勉強会を計画したが、コロナウィルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言のため、5 月 19 日に延期、さらに 5 月 19 日も延期され、今年度中に実施できなかった。コロナウィルス感染状況をにらみつつ、来年度に実施する。

なお、勉強会には防衛省から以下の方々に講師をお願いしていた。

防衛政策局戦略企画課長 松本恭典氏

空幕防衛部事業計画第 2 課長 坂梨弘明空将補

3 安全保障に係る宇宙利用について、わが NPO の更なる見識を深めるため、みずほりサーチ&テクノロジー株式会社と以下のとおり意見交換を行った。

令和 3 年 6 月 10 日 1300~1400 場所：明治安田生命

4 会員の勧誘活動

個人会員及び団体会員の勧誘を積極的に行い、新規会員を獲得できた。

令和 3 年 10 月 1 日現在の会員状況は別紙のとおりである。